

2016年9月22日 北海道新聞 朝刊

チセヌプリスキー場譲渡へ



ニセコのガイド会社に

今冬にも営業再開

蘭越

【蘭越】町は、2013年末から営業を休止している町営チセヌプリスキー場を、スキーガイド会社「JRTトレディング」（ニセコ町）に譲渡する方向で最終調整に入った。21日の定例町議会で関連議案が可決された。両者は10月上旬にも譲渡契約を結び、今冬に営業を再開する。
（堀田昭一）

JRTトレディングは島牧村などで雪上車を使って登る「キャットスキー」を行うなど、スキー客を案内しているほか、ニセコ町で宿泊施設「ブラックダイヤモンドロッジ」を経営。カナハン・クレイトン社長

は取材に「チセヌプリは雪質が素晴らしい上、近くに温泉もあり、海外客に必ず喜ばれる」と述べ、スキー場の休憩舎を改修し、キャットスキーを導入する計画を明らかにした。5年後をめどに、老朽化したリフトの更新も進める意向。

21日の議会では、定められたコース外で行われることが一般的なキャットスキーについて、議員から安全管理上の懸念が出た。山内勲総務課長は「譲渡に当たり、安全管理や原状回復義務について町とJRT（山林を所有する）北海道の3者で覚書を締結する」として理解を求めた。

同スキー場は1967年開業したが、施設の老朽化などで営業を休止。町は2014年12月～15年4月、5千万円でホームページで譲渡先を公募、東京の人材派遣会社と合意したが契約には至らず、今年3～4月に1千万円に価格を下げて再公募していた。